



ご来賓あいさつ

菊間茂 在モンゴル日本国大使館次席

バトジャルモンゴル日本語教師会会長、森篤嗣武庫川女子大学教授、そして本日もご列席の皆様おはようございます。今日は第 15 回日本語教育シンポジウムの開催おめでとうございます。このシンポジウム開催にご尽力いただいた主催団体のモンゴル日本語教師会、共催団体のモンゴル日本人材開発センター、独立行政法人国際交流基金の皆様へ感謝申し上げます。今日の大雪にも関わらず、多くの日本語教育関係者の方々に出席いただいたことで皆様の熱意を感じます。

モンゴル日本語教師会は 1998 年の発足から現在に至るまで、モンゴルにおける日本語教育の発展に多くの貢献をされてきました。2019 年から先程バトジャルガル先生からお話がありました通り、コロナの影響で対面型授業が停止されましたが、その時には円滑にオンライン教育を導入するなど、モンゴルの教育分野でも大きな影響を及ぼされたと承知しています。本日お集まりの先生方におかれましては、コロナ禍でこれまで経験したことのない大きな変化に対応し、試行錯誤しながら日本語教育の継続と発展にご尽力いただいたことに敬意と感謝の気持ちを表します。

私自身、外務省員という仕事柄、いくつかの外国語を勉強した経験がありますが、その中で語学の上達には語学教師の指導とか役割が極めて大きいことを痛感しています。本日のシンポジウムのテーマはコミュニケーション能力育成のための語彙指導と伺っています。森先生の基調講演、ワークショップを通じて本日皆様が身に付けられる学びが日本語教育のさらなる発展に大きな貢献となることを確信しています。

モンゴルにおける日本語学習者は年々増加の一途を辿っており、2018 年、5 年前の調査ではあるのですが、その時には約 11,000 人でした。昨年 6 月時点で約 4,000 名のモンゴル人学生が日本に留学しています。これは外国人の日本留学ランキングトップ 10 に入っています。今年は、日本モンゴル外交関係樹立 51 周年であり、次の 50 年に向けた幕開けの年です。モンゴルの将来を担う若い世代が本日のシンポジウムの成果を享受し、日本語を一層上達させ、そして両国の友好親善を強化する大きな力となっていくことを期待します。

最後になりますが、日本語教育に携わる皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。